

副専攻名 言語学[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

すべての学生を対象として、言語学という学問の最小限の基本的な知識、考え方、スキルの一面を学ぶことを目的とするカリキュラムである。概論と音声学を必修とし、言語学の各科目群から、科目を選択して履修することで、学問的な理解を深める。

副専攻の学習成果

- ・言語に対する高い関心をもつようになる。
- ・言語の構造と歴史について、正しく理解できる。
- ・言語データの収集と分析方法について、基礎的知識をもつ。
- ・言語学の関連領域について、その一端を知る。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
21414	言語学概論1	・言語学の基本的な概念と考え方を理解する。 ・多様な言語の実例と理論のエッセンスに触れる。 ・音韻論、形態論、統語論などの分野の基礎固めをする。	2～4	2			
21415	言語学概論2	・言語学の基本的な概念と考え方をさらに理解する。 ・多様な言語の実例と理論のエッセンスについて更に学ぶ。 ・意味論、社会言語学、比較言語学などの分野の基礎固めをする。	2～4			2	
42538	音声学1	・言語音の産出の仕組みを理解する。 ・個別子音の聞き取り、産出、記述が出来るようになる。	2～4	1			
42539	音声学2	・言語音の産出の仕組みを理解する。 ・個別子音の聞き取り、産出、記述が出来るようになる。	2～4		1		
42540	音声学3	・個々の言語音の聞き取り、産出、記述に更に習熟する。 ・プロソディーについての理解を深める。 ・音響的分析の理論と方法を学ぶ。	2～4			1	
42541	音声学4	・個々の言語音の聞き取り、産出、記述に更に習熟する。 ・プロソディーについての理解を深める。 ・音響的分析の理論と方法を学ぶ。	2～4				1
42530	歴史言語学1	・言語の歴史的研究についての理解を深める。 ・原典講読を通じて、言語間の比較研究のあり方、方法論を理解する。 ・言語研究の歴史について理解する。	2～4	1			
42531	歴史言語学2	・言語の歴史的研究についての理解を深める。 ・原典講読を通じて、言語間の比較研究のあり方、方法論を理解する。 ・言語研究の歴史について理解する。	2～4		1		
42532	社会言語学1	・言語と社会のかかわりについて学ぶ。 ・言語の多様性、非等質性を理解する。	2～4	1			
42533	社会言語学2	・言語の多様性、非等質性を理解する。 ・社会言語学におけるデータの分析方法を身につける。	2～4		1		
42534	言語と認知A1	言語認知の実証的研究がこれまでにどのような問題をどのように解決してきたかに関する基礎的な知識を身につける。	2～4	1			
42535	言語と認知A2	言語認知の実証的研究がこれまでにどのような問題をどのように解決してきたかに関する基礎的な知識を身につける。	2～4		1		

副専攻名 言語学[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

すべての学生を対象として、言語学という学問の最小限の基本的な知識、考え方、スキルの一面を学ぶことを目的とするカリキュラムである。概論と音声学を必修とし、言語学の各科目群から、科目を選択して履修することで、学問的な理解を深める。

副専攻の学習成果

- ・言語に対する高い関心をもつようになる。
- ・言語の構造と歴史について、正しく理解できる。
- ・言語データの収集と分析方法について、基礎的知識をもつ。
- ・言語学の関連領域について、その一端を知る。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
42536	言語と認知B1	言語認知の仕組みを科学的に実証する方法を学び、自らが問題設定を行い、その解決方法を検討する能力を身につける。	2~4			1	
42537	言語と認知B2	言語認知の仕組みを科学的に実証する方法を学び、自らが問題設定を行い、その解決方法を検討する能力を身につける。	2~4				1
42542	個別言語演習A1	・対象言語の音声・音韻の基礎を学ぶ。 ・対象言語の文法の基礎を習得する。 ・現行の言語については最も初歩の運用能力を身につける。	2~4	1			
42543	個別言語演習A2	・対象言語の音声・音韻の基礎を学ぶ。 ・対象言語の文法の基礎を習得する。 ・現行の言語については最も初歩の運用能力を身につける。	2~4		1		
42544	個別言語演習A3	・対象言語の文法解析が出来るようにする。 ・原語で書かれたテキストの読解力を身につける。 ・現行の言語については初歩の運用能力を身につける。	2~4			1	
42545	個別言語演習A4	・対象言語の文法解析が出来るようにする。 ・原語で書かれたテキストの読解力を身につける。 ・現行の言語については初歩の運用能力を身につける。	2~4				1
42546	個別言語演習B1	・対象言語の音声・音韻の基礎を学ぶ。 ・対象言語の文法の基礎を習得する。 ・現行の言語については最も初歩の運用能力を身につける。	2~4	1			
42547	個別言語演習B2	・対象言語の音声・音韻の基礎を学ぶ。 ・対象言語の文法の基礎を習得する。 ・現行の言語については最も初歩の運用能力を身につける。	2~4		1		
42548	個別言語演習B3	・対象言語の文法解析が出来るようにする。 ・原語で書かれたテキストの読解力を身につける。 ・現行の言語については初歩の運用能力を身につける。	2~4			1	
42549	個別言語演習B4	・対象言語の文法解析が出来るようにする。 ・原語で書かれたテキストの読解力を身につける。 ・現行の言語については初歩の運用能力を身につける。	2~4				1
42550	個別言語演習C1	・対象言語の音声・音韻の基礎を学ぶ。 ・対象言語の文法の基礎を習得する。 ・現行の言語については最も初歩の運用能力を身につける。	2~4	1			

副専攻名 言語学[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

すべての学生を対象として、言語学という学問の最小限の基本的な知識、考え方、スキルの一面を学ぶことを目的とするカリキュラムである。概論と音声学を必修とし、言語学の各科目群から、科目を選択して履修することで、学問的な理解を深める。

副専攻の学習成果

- ・言語に対する高い関心をもつようになる。
- ・言語の構造と歴史について、正しく理解できる。
- ・言語データの収集と分析方法について、基礎的知識をもつ。
- ・言語学の関連領域について、その一端を知る。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
42551	個別言語演習C2	・対象言語の音声・音韻の基礎を学ぶ。 ・対象言語の文法の基礎を習得する。 ・現行の言語については最も初歩の運用能力を身につける。	2～4		1		
42552	個別言語演習C3	・対象言語の文法解析ができるようにする。 ・原語で書かれたテキストの読解力を身につける。 ・現行の言語については初歩の運用能力を身につける。	2～4			1	
42553	個別言語演習C4	・対象言語の文法解析ができるようにする。 ・原語で書かれたテキストの読解力を身につける。 ・現行の言語については初歩の運用能力を身につける。	2～4				1
42554	音韻論基礎1	・音韻論の基礎的な知識を身につける。 ・言語データを用いた音韻分析の方法を学ぶ。 ・音韻分析の基本を身につける。	2～4	1			
42555	音韻論基礎2	・音韻論の基礎的な知識を身につける。 ・言語データを用いた音韻分析の方法を学ぶ。 ・音韻分析の基本を身につける。	2～4		1		
42556	形態論基礎1	・形態論の基礎的な知識を身につける。 ・言語データを用いた形態分析の方法を学ぶ。 ・形態分析の基本を身につける。	2～4	1			
42557	形態論基礎2	・形態論の基礎的な知識を身につける。 ・言語データを用いた形態分析の方法を学ぶ。 ・形態分析の基本を身につける。	2～4		1		
42558	統語論基礎1	・統語論の基礎的な知識を身につける。 ・言語データを用いた統語分析の方法を学ぶ。 ・統語分析の基本を身につける。	2～4	1			
42559	統語論基礎2	・統語論の基礎的な知識を身につける。 ・言語データを用いた統語分析の方法を学ぶ。 ・統語分析の基本を身につける。	2～4		1		
42560	意味論基礎1	・意味論の基礎的な知識を身につける。 ・言語データを用いた意味分析の方法を学ぶ。 ・意味分析の基本を身につける。	2～4	1			
42561	意味論基礎2	・意味論の基礎的な知識を身につける。 ・言語データを用いた意味分析の方法を学ぶ。 ・意味分析の基本を身につける。	2～4		1		
42562	理論言語学演習A1	・音韻分析の理論的側面を学ぶ。 ・多様な言語のデータを用いた音韻分析の実際を学ぶ。 ・音韻分析の応用力を身につけ、発表ができるようになる。	2～4			1	

副専攻名 言語学[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

すべての学生を対象として、言語学という学問の最小限の基本的な知識、考え方、スキルの一面を学ぶことを目的とするカリキュラムである。概論と音声学を必修とし、言語学の各科目群から、科目を選択して履修することで、学問的な理解を深める。

副専攻の学習成果

- ・言語に対する高い関心をもつようになる。
- ・言語の構造と歴史について、正しく理解できる。
- ・言語データの収集と分析方法について、基礎的知識をもつ。
- ・言語学の関連領域について、その一端を知る。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
42563	理論言語学演習A2	・音韻分析の理論的側面を学ぶ。 ・多様な言語のデータを用いた音韻分析の実際を学ぶ。 ・音韻分析の応用力を身につけ、発表ができるようにする。	2～4				1
42564	理論言語学演習B1	・形態論・統語論の理論的側面を学ぶ。 ・多様な言語のデータを用いた形態・統語分析の実際を学ぶ。 ・形態・統語分析の応用力を身につけ、発表ができるようにする。	2～4			1	
42565	理論言語学演習B2	・形態論・統語論の理論的側面を学ぶ。 ・多様な言語のデータを用いた形態・統語分析の実際を学ぶ。 ・形態・統語分析の応用力を身につけ、発表ができるようにする。	2～4				1
42566	理論言語学演習C1	・意味論等の理論的側面を学ぶ。 ・多様な言語のデータを用いた分析方法の実際を学ぶ。 ・言語データ分析の応用力を身につけ、発表ができるようにする。	2～4			1	
42567	理論言語学演習C2	・意味論等の理論的側面を学ぶ。 ・多様な言語のデータを用いた分析方法の実際を学ぶ。 ・言語データ分析の応用力を身につけ、発表ができるようにする。	2～4				1
42568	フィールド言語学1	・フィールドワークの意義を考える。 ・フィールドワークを実践するためのスキルを身につける。 ・データのまとめ方とプレゼンの方法を学ぶ。	2～4			1	
42569	フィールド言語学2	・フィールドワークの意義を考える。 ・フィールドワークを実践するためのスキルを身につける。 ・データのまとめ方とプレゼンの方法を学ぶ。	2～4				1
42570	フィールド言語学実習	・フィールドに出て調査の実際を体験し、技術を磨く。 ・収集したデータの扱い方を学ぶ。 ・データのまとめ方とプレゼンの方法を学ぶ。	3～4	2			
42571	応用言語学実習	・言語音の物理的性質の基礎を学ぶ。 ・PCを用いた分析方法を身につける。 ・言語分析に用いる動画・音声などコンテンツの扱いに慣れる。	2～4				2